# 入試区分別アドミッション・ポリシー

| | |
|---|---|
| 全体 | 大阪工業大学は、工学、情報科学、知的財産の各分野における専門的かつ実践的な教育を実施するために、各分野で必要となる論理的思考力や基礎学力を入学者に求めています。入試区分ごとに設定したポリシーは以下のとおりです。 |

| 入試区分 | | アドミッション・ポリシー |
|---|---|---|
| 総合型選抜 | AO入試 | 高等学校等在籍時の多様な活動や経験を通して身に付けた能力や豊かな人間性などを積極的に評価する入試制度です。1次選考では面接および書類審査を課し、様々な活動や経験を通してどのような能力を身に付けてきたか、人間的な成長を遂げたかを評価します。2次選考では書類選考を課し、本学で学ぶ意思と入学後のビジョンなどを評価します。面接は各学科のアドミッション・ポリシーに則った方法で実施します。 |
| 学校推薦型選抜 | 普通科高校特別推薦入試 | 高等学校等在籍時に普通科教育を中心としたカリキュラムを受講した生徒を対象とします。素養を問う簡単なテストおよび小論文を課し、工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は数学および英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力などを、知的財産学部は英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力や知識に加え、思考力・判断力・表現力などを評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。英語、数学の出題は高校教科書の基本的な内容とし、小論文は高等学校等卒業見込み者が持ちうる学力や知識の範囲内で記述できる内容としています。加えて、情報科学部では一定レベル以上の英語資格等保持者や情報処理技術者試験合格者、知的財産学部では一定レベル以上の英語資格等保持者や知的財産管理技能検定3級以上の合格者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。 |
| | 専門高校特別推薦入試 | 高等学校等在籍時に工業、商業、情報などに関する専門教育を受けた生徒を対象とします。工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は英語および数学の素養を問う簡単なテスト、知的財産学部は英語の素養を問う簡単なテストを課し、入学後の学びで必要となる基礎学力を評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。加えて、情報科学部では一定レベル以上の情報処理技術者試験合格者、知的財産学部では知的財産管理技能検定3級以上の合格者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。 |
| | 女子特別推薦入試 | 社会環境の変化や多様化を背景に、科学技術の発展や製品開発などさまざまな場面において女性の活躍が期待されています。本学はこれまで「建学の精神」に基づく教育・研究を展開し、時代と地域が必要とする「現場に強い専門職業人」の育成を行っており、現代の社会的ニーズに応えるため、理工系分野における女性人材育成の一層の促進を図ることを目的に本入試を実施します。<br>工学部建築学科を除く学科では、高等学校等在籍時に普通科教育を中心としたカリキュラムを受講した女子生徒を対象とします。工学部建築学科は高等学校等在籍時に工業に関する専門教育を受けた女子生徒を対象とします。なお、工学部電子情報システム工学科は上記に加え、工業に関する専門教育を受けた高等専門学校に在籍する女子生徒も対象とします。素養を問う簡単なテストを課し、数学および英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力を評価します。英語、数学の出題は高校教科書の基本的な内容としています。書類審査は各学科が指定する課題を課し、思考力・判断力・表現力などを評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。加えて、工学部電子情報システム工学科および情報科学部では一定レベル以上の英語資格等保持者や情報処理技術者試験合格者、さらに工学部電子情報システム工学科では上記に加え電気・通信系資格保持者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。 |
| | 公募制推薦入試 | 工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は数学、外国語（情報科学部データサイエンス学科においては理系型入試は外国語（必須）、文理型入試は外国語または国語（選択））の2教科、知的財産学部は外国語（必須）、国語または数学（選択）の2教科を課しています。いずれの出題も素養を問う簡単なテストとし、高校教科書の内容の正確な理解を求めます。また、数学、国語の一部問題については記述式を採用し、単なる知識として問うだけではなく、思考力、表現力も評価します。 |
| 一般選抜 | 一般入試 | 工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は数学、外国語、理科（情報科学部データサイエンス学科における文系型入試は地理歴史または国語（選択））の3教科、知的財産学部は外国語、国語、数学、地理歴史または理科（選択）のうち3教科（または2教科）を課しています。いずれも高校教科書の内容の正確な理解に加え、それを応用できる能力を求めます。数学、物理、化学と国語の一部問題については記述式を採用し、単なる知識として問うだけではなく、思考力や表現力も評価します。<br>本入試ではこのほか、大学入学共通テストの結果を用いた方式もあります。利用科目については、工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部（データサイエンス学科は理系型入試）は数学、情報科学部データサイエンス学科の文系型入試および知的財産学部は外国語や国語に重きを置きつつ、幅広い視野と知識を身につけた入学者を求める観点から、理系・文系にかかわらず広く科目を設定しています。また、大学入学共通テスト利用型（後期C日程）では、「外部英語検定試験」を活用したみなし得点制度を導入し、学力の3要素を踏まえた多面的・総合的な評価を実施します。 |
| その他の選抜 | 社会人入試 | 一定期間以上の社会人経験を有する入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。書類審査および面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問うとともに、社会人経験で培った人間性、入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。 |
| | 帰国生徒入試 | 帰国生徒の海外での経験を積極的に評価する「多面的評価入試」の一環として行っています。面接では、海外での経験を通じて身に付けた多様性や協働性、主体性のほか、本学で学ぶ意思や入学後のビジョン、入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。 |
| | 外国人留学生入試 | 海外での異なる文化や環境で生まれ育った入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は英語、数学の素養を問う簡単なテスト、知的財産学部は英語の素養を問う簡単なテストおよび小論文を課し、入学後の学びで必要となる基礎学力などを評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問うとともに、日本語能力を評価します。 |
| | 編入学試験 | 本学が定める一定基準以上の学業を収めた編入学希望者および大学を卒業または学士の称号を有する（いずれも見込者を含む）編入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。工学部、ロボティクス＆デザイン工学部ならびに情報科学部は英語、数学、理科の3教科、知的財産学部は英語および論文を課します。いずれの出題も大学2年次生程度の基礎学力や知識とそれらを応用できる能力を評価します。面接では、本学で学ぶ意思や編入学後のビジョンなどを問うとともに、編入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。 |